

鹿児島県原水協ニュース

発行:原水爆禁止鹿児島県協議会 電話:099-219-1765
FAX:219-1764 Eメール:kojirouren08@movie.ocn.ne.jp

2021年
1月26日発行

核兵器禁止条約の発効を記念しての 街頭宣伝行動、県内各地で！

批准52か国・署名調印86か国で核兵器禁止条約が1月22日に発効しました。世界各地・日本全国で様々な行動が、この日を中心に行われました。鹿児島でも県原水協・新婦人の呼びかけで、スタンディング宣伝・署名に取り組みました。22日は、鹿児島中央駅前(14人)・天文館(18人)・谷山生協病院前(24人)・サンキュー和田店前(15人)また、奄美(6人)・霧島市(6人)で行われ延べ83人の参加が確認されています。23日には、天文館での宣伝に33人以上の参加を確認しました。この二日間の参加団体は、新婦人・鹿商連・県民医連・共産党・県労連・医労連・コープ労組・自治労連などの県原水協加盟組織とその傘下団体、そのほかに被爆者協議会・県生協連・合唱団「風」の有志のみなさんも参加していただきました。この行動の模様は、22日のKKBのニュースで紹介され、南日本・毎日・南海日日・奄美新聞でも紹介されています。



1月23日も天文館での宣伝



参加者も23日は34人以上でした。署名も二日間で156筆を確認しました。自分から署名に来る人もいます。



南九州市では、「原爆の絵画展」を開催

南九州市川辺町の「市民交流センターひまわり館」で1月17日から24日まで広島市立基町高校の生徒が描いた「原爆の絵画展」を新婦人南薩支部の手で開催しました。市の教育委員会の後援をいただいたそうです。作品の一つ一つから広島の史実が伝わってきました。



**核なき世界へスタート！
東京・広島・長崎つないで集会！ 日本政府へ批准迫る。**

核兵器禁止条約の発効を受けて23日、「核なき世界へスタート！」集会が海外からのビデオメッセージを交えて東京で開かれました。広島、長崎をオンラインでつなぎ配信しました。主催はヒバクシャ国際署名連絡会、核兵器廃絶日本NGO連絡会など10団体。

国連の中満泉軍縮担当上級代表は、尽力された被爆者らに祝意を伝え、「発効をもって禁止条約はノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、広島と長崎の悲劇を決して繰り返さないという新たな決意の象徴となります」とのべました。コスタリカのエレン・ホワイト・ゴメス大使、核兵器廃絶国際キャンペーン(ican)のベアトリス・フィン事務局長もメッセージを寄せ、被爆者からは、カナダからサーロー節子さん。被団協の田中熙巳(てるみ)代表委員があいさつされました。長崎からは、田上富久市長と「A and L i v e」の高田明代表取締役が「いかそう核兵器禁止条約」と題してトークセッションを行いました。

「赤旗新聞」抜粋

上記の記事にある集会を「ヒバクシャ署名をすすめる県民の会」の代表7人で視聴しました。南日本新聞・赤旗でも紹介されていましたが、とっても意義ある集会でした。1時間30分ほどですが、下記のYou tubeのURLで視聴できます。おすすめですので是非ご視聴ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=MWRDztaT1Bc&t=4064s>